

J C NEWS 1

January 2018



第64代理事長 小境 邦裕

【はじめに】

現在、日本全土で深刻な少子高齢化が進行する中、地域活性化の重要性はこれまで以上に高まっています。我々の住み暮らすこのまちも、市民一人ひとりが中心となり、社会変化に負けない力強いまちを、自分達の力で創り上げていく事が求められています。そんな中、責任世代である我々青年は、将来のまちや国の課題を自分事と捉え、積極的に取り組む事が出来ているのでしょうか。物質的な豊かさの中で、今日の日常をあたりまえのものと考え、問題を直視せず先延ばしにし、自分の事を優先し、他者や地域を顧みない想いが不足してしまっている様に感じます。そんな社会の空気の中では、これからを担う子ども達が大人に憧れ、ふるさとを愛し、このまちで活躍する自分の未来像を思い描く事も出来ません。

今後困難が予測されるこんな時代だからこそ、我々青年会議所が地域のリーダーとしての意識と資質を高め、目の前にあるまちや企業や組織の問題と正面から向き合い、解決の道筋を具体的に、怯む事なく全力で取り組んでいかなければなりません。そして我々が先導者となり、今日の豊かさが他者やまちに支えられているという理解を広げ、手を取り合い協働する意識を地域に広めて参ります。

目の前の困難が大きく見えようとも、越えられない壁はありません。目を逸らす事なく一歩ずつ取り組めば、必ず次へとつながる光が見えてきます。そして、たとえこのまちに投じる石は小さかったとしても、その波紋は大きな波となり広がる運動となっていくのです。メンバー全員が変革の能動者として三信条を胸に一丸となり、感謝の念に溢れるたくましいまちの創造を目指して参ります。

【魅力ある人材を目指して】

63年の長きに亘り、多治見青年会議所はその時代に求められる運動を展開し、地域からの信頼を築き上げて参りました。しかし、今の時代を担うべき我々は、年月を経て時代や状況が変化しているにも関わらず過去に捉われてしまい、対象者や目的達成の為の議論より、組織の中の議論が優先され、それに満足してしまっていないのでしょうか。青年会議所は机上で議論するだけの団体ではあってはなりません。我々が地域から必要とされ求められる存在であり続ける為には、説得力と具体性を兼ね備えた事業を計画し、実践する力が伴った団体でなければならないのです。

その為には、メンバー一人ひとりが自らを律する意識を持つだけでなく、変えるべき物事の本質は何か、誰の為の運動なのかを深く掘り下げ、意義のある事業を広く発信する力を身に付けていく必要があります。自らの言動に責任を持ち、大局的に物事を捉える事の出来る力を養い、自分の考えを明確に伝え、相手の理解を得られる自己発信力を身に付ける事で、行動力と説得力に満ち溢れ、周囲を惹きつける人材へと成長して参ります。

そして、我々が地域を牽引するリーダーとしての自覚を持って行動に移し、魅力溢れる運動を発信していく事で、同世代からの賛同の輪を拡げ、延いては地域に求められ続ける団体へと昇華して参ります。

【まちの未来を担う子ども達の育成】

今日のこのまちの姿は、多くの先人達が仕事を通して様々な困難に立ち向かい、社会の発展に貢献してこられた賜物です。私が子どもの頃、働く大人は今よりも身近な存在でした。いつも祖母の健康を気遣ってくれた花屋さんや、届いたテレビを喜ぶ私達を嬉しそうに見つめていた電気屋さんや、自分達で建てた街灯を誇らしく説明してくれた父等、周囲の喜びを意気に感じ、誇りを持って働いている大人達の姿を間近に見る事で、自然とその姿に憧れを抱いたものです。何時の時代に於いてもどんな職業に於いても、仕事の根底にあるものは、他者に感謝され、周囲と助け合い、そして社会から必要とされる事であったはず。

しかし、行き過ぎた経済の発展は厳しい競争を生み出し、短期的な合理性や経済性ばかりが重視され、長期的な繁栄に必要な仕事の根底にある本来の価値観が軽んじられてしまっている様に感じます。そんな大人達の背中を見て育つ現代の子ども達は、大人への憧れが薄れ、他者や地域と助け合い支え合う大切さが十分に理解出来ず、将来の自分が社会で活躍する姿を思い描けなくなっているのではないのでしょうか。子ども達が自分の住むまちの事を深く知り、仕事本来の価値を理解する事で具体的な夢を持ち、努力を怠らない大人へと成長出来る様、導いていかなければなりません。

その為には、今日のこのまちの姿が先人達の重ねて来られた努力の結晶である事を子ども達に伝え、愛郷心を育むと共に、仕事の根底に流れる価値を実際に体験し経験値として養う場を創出し、人の為地域の為に活動する大切さと達成感を広く伝える事で、このまちを愛し他者に感謝される喜びを根底に宿す大人へと導いて参ります。そうする事が少子高齢化にも負けない、郷土愛溢れるたくましいまちの創造へ繋がると信じ、積極果敢に取り組んで参ります。

【結びに】

青年会議所には、自らの成長につながる機会が数多く存在します。しかしその機会は、目的意識を持ち能動的に挑戦して初めて、大きな学びへと繋がるものです。40歳までという限られた時間しかない事や、家族や会社に支えられて活動が出来ている事、志を共にする仲間も自分と変わらない状況でJCに取り組んでいる事を肝に銘じ、全力を以って取り組む事で、自己の成長へと繋げて参りましょう。

そして我々が、未来に向けて発展し挑戦していく組織であり続ける為には、前向きな雰囲気と満ちた環境を構築していくのはもちろんの事、共通目的をもつ他団体との連携をより強固なものとしていく事で、可能性を広げ、運動の波紋を大きくしていく必要があります。この東濃地方には、多治見青年会議所を含め5つの青年会議所が存在します。それぞれ地域性や環境は違いますが、同じ理念のもとに各々が独自の活動を展開し、会員減少という共通の課題も抱えています。我々5つの青年会議所が、これまで以上に運動の方向性と情報の共有をして連携を図り、互いに切磋琢磨し協働していく事で、多くの気づきや学びへと繋げて参ります。

多治見青年会議所の組織力を高め、手を携え助け合う力強い東濃を育み、そのポジティブな連鎖を継続し、市民意識変革運動を推進し、このまちに大きなうねりを起こして参ります。

執行部・委員長紹介



副理事長 牧田充広

新年あけましておめでとうございます。本年度、伝統ある多治見青年会議所の副理事長を務めさせていただきます。我々メンバーが地域を牽引するリーダーとなるために、JAYCEEとしての自覚をもち、先を見据える思考力と、周囲を巻き込む説得力を身に付けてまいります。副理事長として、至らぬ点が多々あると思いますが、1年間精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。



副理事長 虎山宗哲

新年あけましておめでとうございます。多治見青年会議所の副理事長を務めさせていただきます。総務・渉外委員会の担当副理事長として全メンバーが1年間の方向性を理解し、勇往邁進に青年会議所活動が出来るように活動してまいります。また、財政面においてもメンバー一人ひとりが多治見青年会議所の財政状況に対して共通認識をもつことができるよう努めてまいります。1年間どうぞ宜しくお願いいたします。



副理事長 正村大治

新年あけましておめでとうございます。本年度副理事長を務めさせていただきます。子どもたちが自ら住み暮らすに愛郷心を抱き、仕事本来の価値観を知る事で将来に対し期待を持ち、郷土愛溢れるまちの創造へと邁進してまいります。副理事長として至らぬ点が多々あるかとは思いますが、精一杯努めて参ります。1年間どうぞよろしくお願い致します。



専務理事 久野元騎

あけましておめでとうございます。本年度専務理事を務めさせていただきます。事務局の長として組織を支えするとともに、地域と多治見青年会議所がお互いに発展するような関係になることができる組織運営を心がけてまいります。歴史ある多治見青年会議所の専務理事という新しい修練の場を与えていただいたことに心から感謝し、一年間全力を尽くす所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



総務・渉外委員会
委員長 三和義幸

新年明けましておめでとうございます。総務・渉外委員会では組織力の向上を目指し、メンバーの親睦を深め、想いや目的を共有することで、絆の輪を広げメンバー一丸となり運動を展開できるようサポートしてまいります。さらに、先輩諸兄、他LOM、済州南元JCとの交流を通じ協力関係を強固にしてまいります。



会員開発委員会
委員長 恩田紘尚

新年明けましておめでとうございます。会員開発委員会では、JAYCEEとしての可能性を広げることで会員意識の高揚を図り、先を見据える力と相手の理解を得られる自己発信力を養うことで周囲を惹きつける人材を開発してまいります。次代を担うリーダーを育成することで、地域から求め続けられる団体へ昇華してまいります。



地域の未来確立委員会
委員長 津田剛

新年あけましておめでとうございます。地域の未来確立委員会では子どもたちに、このまちへの愛郷心と相互扶助の精神を養っていただき、自身とまちの将来に対して期待を持っていただくことで、郷土愛溢れるまちの創造へと邁進してまいります。

新入会員紹介



(有) 平和観光
片岡 新之助



(株) 多治見トレーディング
加藤 大輔



(有) 長尾造園
長尾 有祐



(株) 赤坂造園
丹羽 亮介



(有) 石玉石材
水野 恵介



税理士法人 森本会計
滝 文謙



東濃信用金庫
伊藤 寿高



(株) 可児自動車学校
坂崎 雄介



(株) L i e N
山口 香織



シブラルタ生命保険 (株)
大森 有希子



宗教法人 永明寺
天安 寿徳

出向者紹介

(公社) 日本青年会議所出向者

国家戦略グループ 憲法改正推進委員会 委員 吉田企貴
総務グループ 財政審査会議 委員 虎山宗哲

(公社) 日本青年会議所東海地区協議会出向者

財政審査特別委員会 委員長 虎山宗哲
財政審査特別委員会 総括幹事 荒地俊暁
東海フォーラム2018運営委員会 委員 早川義記
第45回JC青年の船「とうかい号」生活委員会 委員 田財千裕

(公社) 日本青年会議所東海地区岐阜ブロック協議会出向者

組織連携推進会議 委員 大嶽秀暢
アカデミー委員会 委員 加藤聖規
とうかい号運営委員会 委員 田財千裕
岐阜ブロック大会2018実行委員会 委員 原正嗣
事務局 事務局員 日下部里奈

日本青年会議所業種別部会窯業部会出向者

窯業部会 副部会長 若尾淳一
窯業部会 常任委員 三宅輝



第45回JC青年の船「とうかい号」一般乗船者募集のご案内

第45回JC青年の船「とうかい号」の一般乗船者の募集を行っております。募集日時は、2018年2月までとなり、対象者は原則として多治見市に在住または勤務する年齢20歳からおおむね35歳までの男女を対象とした研修プログラムです。本年度は「無限の可能性への挑戦～未来の扉を開く航海～」をスローガンとし2018年6月3日(日)から6月10日(日)までの8日間をかけて台湾に向けて出港します。多治見青年会議所として乗船者に研修を通じて学んだ事を職場・地域等で活かす事ができるよう支援して参りますので是非ともよろしくお願い申し上げます。